

活用のない自立語

ハルとアキ、留学生のトムが、しりとりをしています。

トム かき

ハル きく

アキ くじら

トム らんち

ハル ちかてつ

アキ つき

トム きく

アキ あれ？「きく」は、さっき言ったよね。しりと

りでは、同じ言葉を二回言っただけじゃないんだよ。

トム ハルが言った「きく」は植物の「菊」で、私が

言ったのは「話を聞く」の「聞く」ですよ。

ハル え？「聞く」？それは違うよ。

トム なんてですか？

ハル 「聞く」が許されるなら、「聞かない」とか「聞

こう」とかも認められちゃうからじゃないかな。

15

10

5

動詞は使えないんだよ。

トム そうすると「気づく」もだめですね。「気づき」

は使えますか？

アキ 「気づき」かあ……。どうだろう。

トム では、「黄色い」はどうですか？

ハル ううん、ちょっと違和感があるなあ。「黄色」

なら使えそうだけど……。

トム 難しいですね……。では、「きれい」や「気軽」、

「きちんと」や「きっと」は？「キュート」も

だめですか？

アキ 困ったな。しりとりって簡単だと思ってたけど、

使える言葉については、奥が深そうだね。

しりとりで使える言葉には、どのような
きまりがあるか、話し合ってみよう。



↓
P 290 へ